

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りすの森malu			
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日 ~ 令和8年1月23日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日 ~ 令和8年1月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して楽しく通所している。	<ul style="list-style-type: none"> 本人の日々の想いに沿った支援を意識し、子どもたちが楽しめているか、成長できているか日々確認しながら支援を行っている。 パーテーションで区切られた空間や別室、過ごす場所を本人の意思を確認しながら設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に本人と面談し、希望や悩み等を聞き改善していく。 活動の選択肢が広げられるようより様々な活動を準備し、本人がやってみようかなと思ったときにできる体制を整えていく。
2	職員の子どもの特性への配慮がある。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性についての研修を行っている。また、他機関の研修会に積極的に職員が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談時や契約前のアセスメントを保護者以外からも情報を取り、職員間で共有する。
3	スタッフ間のコミュニケーションが取れている。	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議、タ札で上手くいった支援、上手くいかなかった支援について具体的に話し合いを行い、改善策まで意識して検討している。 	外部講師や学校、他事業所と話す機会があった際に、「こんな場合はどう対応しているか」「上手くいった支援はどんな支援か」を共有するなど、職員以外のアドバイスも積極的に取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会、保護者同士の交流会。	<ul style="list-style-type: none"> 公園や図書館、買い物に出かける機会を設けている。保護者を対象にした、研修会もあるが、交流を主目的とした場の設定が必要。 児童クラブや他事業所との接点がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を聞きながら、プライバシーに配慮して取り組んでいく。 ケア会議などで関わった他事業所と交流の機会を作っていく。 くるみ会員の周知を図っていく。
2	非常時の対応についての周知。	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練実施曜日以外の保護者への情報共有方法お知らせ以外での伝達方法が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSでも発信している事を再度伝えていく。 モニタリングや面談時など、定期的に説得していく。
3	各種マニュアルの存在を周知	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルがある事をうまく周知できていない。 	年度初めに配布するお知らせに各種マニュアルがある事を掲載する。